



歴史を訪ね自然を楽しむ木下散歩道

木下万葉公園内にある「木下貝層」は、国の天然記念物に指定され、「千葉県の石(化石)」にも選定されています。景観としては地味ながら、貝類の化石が厚さ4.3メートル長さ45メートルに密集し、山肌の地層の一角に見ることが出来ます。

案内板によると、この貝層は、千葉県北部から茨城県南部にかけて広く分布しており、木下で最初に調査されたので、木下貝層の名が付けられたとあります。また、約12～13万年前の地層で、関東平野はその頃「古東京湾」と呼ばれる大きな海が広がっており、印西市周辺も海の底で、波や潮の流れによって貝殻が集められ地層となったとのこと。さらに、ここに見られる100種類以上の貝化石から当時は浅い海だったことが分かり、その後、古東京湾は海面が下がったり陸地が上昇して現代のような台地となったとあります。



木下貝層(西側露頭)入口

印西市は、私を含めた転入者が増え続け、人口が10万人を突破しました。転入者の皆さんに是非、見学して欲しいのがこの木下貝層の近くにある「木下交流の杜歴史資料センター」です。我がまちの生い立ちを知ることができます。特にシルバー世代の皆さんは平日に、のんびりと花木観賞を兼ねて訪ねてみてはいかがでしょうか。

岡印西市立木下交流の杜歴史資料センター
(印西市木下1489-1・☎40-3500)



木下貝層(南側露頭)



広報レポーター

田中 謙一郎 (小林浅間)



木下交流の杜歴史資料センター(外観と展示室)

